

# はなぞの



## 令和6年度のまとめと次年度にむけて

本校では、年に3回の学校運営協議会を設定しています。1・3回目は学校経営全般に関する説明、2回目は小中合同での学校運営協議会を行っています。子どもたちを9年間で育していく小中一貫教育の理解と協力、そして連携を図っていくことで、充実した教育課程の編成を進めていくことがねらいです。

今年度の取組を以下のように整理しましたので、紹介します。

### 【活動内容】

各回とも、学校説明の後、「花園の子」を主語にしたミニテーマをもとに熟議の場を設定した。

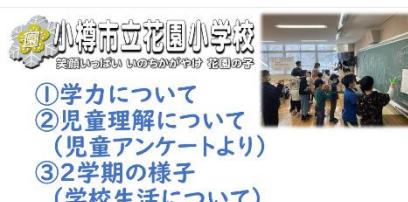
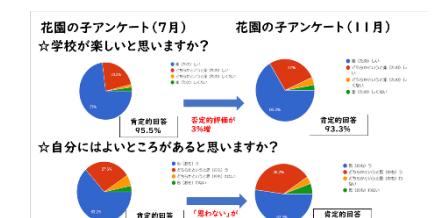
#### 第1回（令和6年7月19日18:00～ 本校 視聴覚室）

- ・自己紹介
- ・学校経営について
- ・教育活動について
- ・熟議「花園の子のためにできること」



#### 第2回（令和6年12月12日18:30～ 菁園中学校 多目的室）

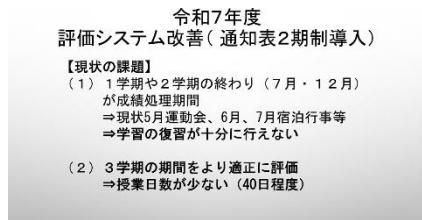
- ・小、中学校の取組について
- ・小中一貫の取組について
- ・熟議「地域と学校が関わり合ってできること・やりたいこと」



\*上記のようなプレゼンテーション資料をもとに、小中一貫教育におけるそれぞれの取組や子どもたちの実態について、説明した。

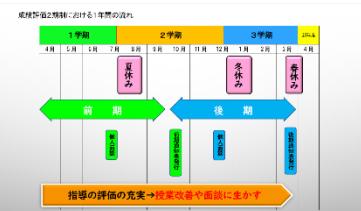
### 第3回（令和7年2月26日18:30～ 本校 視聴覚室）

- ・今年度の学校経営を振り返って
- ・次年度の教育活動について
- ・学校関係者評価について
- ・熟議「今年度を振り返って」
- ・次年度の委員について



【評価システム改善の効果】

- (1)評価期間（4月～9月、10月～3月）を長くする  
⇒子どもの成果や課題をしつかり評価（特に、音楽や図画工作・技術・家庭などは、実技や作品制作等）
- (2)長期休業前に保護者および児童を対象とした面談  
⇒直接伝えることで、子どもたちは、長期休業中目標をもちながら学習を進めることができる。
- (3)長期休業中の学習の努力が通知表に反映、学力向上の期待
- (4)長期休業前の評価業務からの解放  
⇒教員が子どもと向き合う時間を確保
- (5)長期休業中に、評価資料の整理や準備  
⇒子どものよさや課題の確認等、個別の指導に生かせる。



\*学校関係者評価の内容や令和7年度から市内小学校で始まる「評価2期制」について等、資料を基に説明し、共通理解を図ることができた。

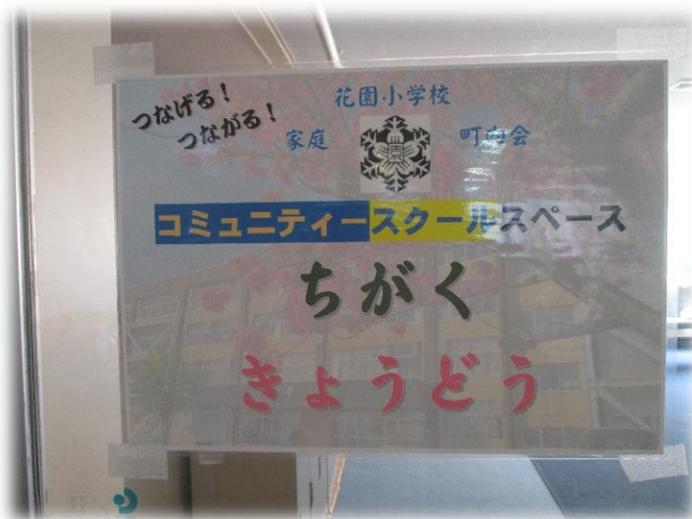
### 【令和7年度に向けて】

熟議等を受けて、次年度改善・検討を進めていく。

- ① 小樽祭りの日課を3時間授業とし、花園の子が地域の活動に参加できるようにする。
- ② 行事等を通して、花園の子の成長を地域の皆さんにも感じていただく。
- ③ 花園の子が安全・安心して過ごせる場を地域・家庭と連携して構築していく。

\*学校運営協議会だよりを定期的に発行していく。

令和7年度は、委員の変更があるため、これまでの取組をより一層充実できるよう、連携を密にしていく。そのために、「コミュニティースクール スペース『ちがく きょうどう』」を校内に設置し、有効活用を図っていきたいと考えます。



使用していない教室を活用し、会議や談話スペースとして委員や地域の方が活用できるようにしていきます。準備が整い次第、情報を発信していきます。